

## お知らせ

- ◎サイエンスキャンプ2002実施
- ◎多摩森林科学園森林講座開講のお知らせ
- ◎平成13年度研究成果選集発行

## ◎サイエンスキャンプ2002実施

去る8月6日(火)から8日(木)までの3日間、サイエンスキャンプ2002(平成14年度)を行いました。このイベントは、全国の高校生を対象に、様々な分野の研究機関などを会場にして、実際に実験や調査などを体験することで科学技術に対する興味を深めてもらうこととするものです。当所は4回目の実施となり、「A. 大地の呼吸を測るコース」、 「B. 樹木の構造と成長の仕組みコース」、 「C. 樹木のバイオサイエンスコース」に全国から12名の高校生が参加しました。

今回は、地表面のガス濃度を測って地面から発生するCO<sub>2</sub>量を解析したり、樹木の枝や葉の付き方、その重さや量を詳しく計測して樹木の構造を考えたり、樹木からDNAを取り出し、遺伝子組み換えや組織培養を体験するなど、森林総研ならではの研究を体験してもらいました。3日間で得られた成果がコースごとに報告された後、修了証が理事長から手渡され、サイエンスキャンプは無事に終了しました。



## ◎多摩森林科学園森林講座開講のお知らせ

(第7回:平成14年12月10日開催)

多摩森林科学園では園内の「森の科学館」で、毎月1回「森林講座」を開講しています。第7回の森林講座は、下記の通りです。どうぞお気軽に。多摩森林科学園までお問い合わせ・お申し込み下さい。



- 受講料は無料ですが、入園料として、大人300円・子供50円(小〜高校生)が必要です。

■開催日時 12月10日(火)  
13:15~15:00

## ●講座タイトル・内容

里山の風景をつくる  
-多様な役割を持つ里山-  
里山の風景や生き物、文化や歴史、環境教育など、多様な役割を生かすための里山づくりについてお話しします。

- 講師 香川 隆英  
(企画調整部 上席研究官)

## ◎平成13年度研究成果選集発行

前年度の研究成果の中から特に優れた20課題を選んだ平成13年度研究成果選集が刊行されました。今回、表紙デザインがカラー写真の入ったものへと新しくなりました。



○ホームページでもご覧いただけます

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/kouho/seika/2001-seika/2001mokuji.htm>

## (目次)

- ア 森林における生物多様性の保全に関する研究**
  - ・落葉亜高木種アオダモの雄株と両性株の割合は交配様式で決まるのか
- イ 森林の国土保全、水資源かん養、生活環境保全機能の高度発揮に関する研究**
  - ・落葉広葉樹林における林床面CO<sub>2</sub>放出量の長期連続測定-川越森林気象試験地-
  - ・濡れ雪の強度を測定する 1
- ウ 森林に対する生物被害、気象災害等の回避・防除技術に関する研究**
  - ・森林火災が発生する危険度の評価には、落葉層の含水率推定が重要である
- エ 多様な公益的機能の総合発揮に関する研究**
  - ・レーザー光を用いて空から森林の構造をとらえるランドモザイク解析により森林の分断度合を調べる
  - ・広域デジタルマップで森林資源の移り変わりを見る
- オ 地球環境変動下における森林の保全・再生に関する研究**
  - ・日本の森林炭素吸収量とその分布
  - ・森の落ち葉はどのくらい炭素を貯めているか?
  - ・地球温暖化がブナ林とスギ人工林に与える影響の評価
- カ 効率的生産システムの構築に関する研究**
  - ・軌条形ベアスマシンの開発
- キ 森林の新たな利用を推進し、山村振興に資する研究**
  - ・スギ雄花の開花時期を予測する
  - ・園床栽培におけるタニ被害を回避する
- ク 循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究**
  - (木質資源の環境調和・循環利用技術の開発に関する研究)
  - ・セルロース系新材料構築のためのグルカン鎖配向の新コンセプト
  - ・キシロースを糖質原料としてバクテリア・セルロースが生産できる
- ケ 循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究**
  - (安全・快適・性の向上を目指した木質材料の加工・利用技術の開発に関する研究)
  - ・厚物構造用合板を利用した高耐震床の正しい設計法の開発と性能評価
- コ 生物機能の解明と新素材の開発に向けた研究**
  - ・スギの遺伝子地図とその利用
  - ・ホウ素によるペクチンの架橋が植物の成長に必須である
- サ 森林・林業・木材産業政策の企画立案に資する研究**
  - ・地域材による家造り運動の可能性
  - ・変わりつつある素材生産業

## ◎研究成果発表会の発表課題変更のお知らせ

- 下記の通り、発表課題が変更になりましたのでお知らせいたします。
- ・森林のCO<sub>2</sub>吸収量をタワーではかる
  - ・森林の手入れはCO<sub>2</sub>吸収量にどう影響するのか?